

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 874

所管部局	福祉部	所管課	高齢福祉課	担当者名	井上 明美
事業名	地域介護予防活動支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	地域介護予防活動支援事業			政策体系	145
会計	介護特会	科目	4.地域 - 1.介護 - 1.介護		

1. 事業の概要

ひとり暮らし高齢者や虚弱な高齢者等を対象に、公民館等を利用し簡単な体操や趣味活動を提供することにより、寝たきりや認知症になることを防止してきた。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

高齢者等の自立的生活の助長、社会的孤独感の解消及び心身機能の維持向上を図り、在宅虚弱高齢者の閉じこもり防止など介護予防の効果を進める。

②事業を実施する必要性

各公民館や隣保館において、生活に身近な施設において、手芸・陶芸・園芸・音楽・健康づくり体操など、介護予防として生きがいに繋がる場の提供と支援を実施するものとする。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円			14,587	17,050	21,538	21,400	21,400
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	9,119	10,769	10,700	10,700
	国・府支出金	千円		0	6,839	8,077	8,025	8,025
	地方債	千円		0	0	0	0	0
	一般財源	千円			14,587	1,092	2,692	2,675
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.28	0.05			
人件費	千円	—	—	1,852	254			
事業費総額	千円	—	—	16,439	17,304			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

南丹市社会福祉協議会委託料	15,624,000円
南丹市福祉シルバー人材センター委託料	2,614,402円

5. 事業結果の概要

実施箇所数	29箇所
回数	775回
延べ人数	6,411人

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 事業		
<p>●生きがい活動支援通所事業 虚弱な高齢者等を対象に、公民館等を利用し簡単な体操や趣味活動を提供することにより、寝たきりや認知症になることを防止。 〔対象者〕要介護認定者を除くおおむね65歳以上の身体が虚弱な者又は家に閉じこもりがちな者〔利用者負担〕原材料費相当分〔実施箇所〕・園部：19箇所（千妻公民館・曾我谷公民館・高屋公民館・殿谷公民館・新町公民館・小山西町教育集会所・美園町公民館・南部コミュニティーセンター・北部コミュニティーセンター・船岡文化センター・越方公民館・黒田公民館・竹井公民館・仁江公民館・大西公民館・半田公民館・埴生公民館・天引公民館・大河内公民館）・八木：3箇所（東部文化センター・神吉地区自治振興館・西地区自治振興館）・日吉：2箇所（胡麻基幹集落センター・興風交流センター）・美山4箇所（知井会館・高齢者コミュニティーセンター・鶴ヶ岡保育所・大野ふれあい会館）</p>	年間	延べ利用件数 6,411人 事業費 18,238,402円

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

閉じこもり予防等の効果や生きがい活動にも繋がるため今後も積極的に進めていく。22年度においては、日吉町・美山町で1箇所増設して実施予定。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
閉じこもり予防等の効果や生きがいにも繋がるため、今後も積極的に進めていく。
- ②当該事業のアピール事項
市広報誌への記載・介護関係者や地域住民との連携による取り組みを行った。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
市内全ての地域では実施できていないので、今後地域状況を見ながら実施を検討する。